

みなかみ町の森林、木材を活用する取り組み ～ 広葉樹で家具が製作されました ～

～森と人を繋ぐ椅子～ 「Mori:toチェア」

みなかみ町で自伐型林業により伐り出された木材を使用しています。



みなかみ町とオークヴィレッジ株式会社（岐阜県高山市）は、みなかみ町産の広葉樹を活用するプロジェクトとして初めて手掛けた家具製品「モリートチェア」を発表いたしました。「森と人を繋ぐ椅子」というコンセプトで、自伐型林業※1によって伐り出されたコナラやクリなどの広葉樹を活用しております。

このようにみなかみ町では、ユネスコエコパークとして登録された豊かな自然環境、資源を「守り、活かし、広める」取り組みの一環として、町内の広葉樹等を活用することによって、里山林の保全や地域の活性化を目指した取り組みを推進してまいります。

モリートチェア（1脚） ￥67,000円（送料別、税別）
みなかみ町民限定 ￥60,300円（送料別、税別）
※令和2年9月30日までの期間限定

※モリートチェアは、役場本庁舎1階ロビーに展示しております。

お立ち寄りの際は、是非すわってみて、その質感を体験してみてください！



※1 森林所有者や地域住民自らが行う
環境保全型の持続的な小規模林業